

ふしぎなたいりょう

文・河村貞子 絵・小野かおる



ふしぎなたいりょう

文・河村眞子 絵・小野かおる

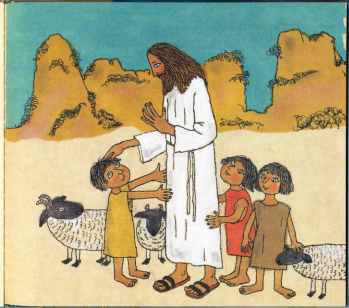


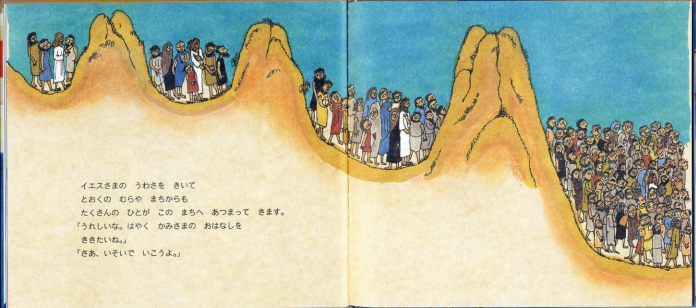
地上
の
海

ガリラヤ湖

ヨ
ル
ダ
ン
川

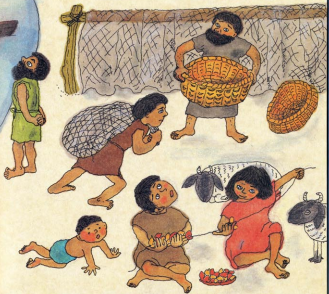
イエスさまは みんなの やさしい おともだち
いつでも どこでも だれとでも
なかよしに なって くださいます。
ガリラヤの ちいさな まちに すんで いる
りょうしの ペトロさんも イエスさまが だいすきです。

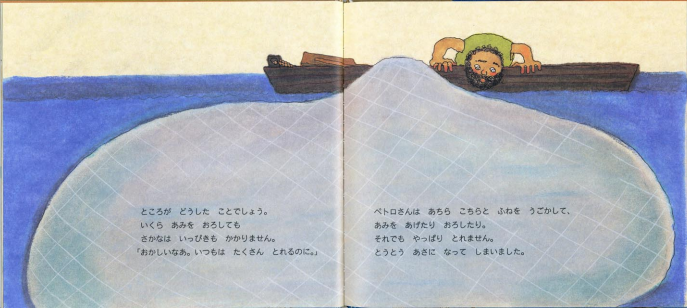




イエスさまの うわさを きいて
とおくの むらや まちからも
たくさんの ひとが この まちへ あつまって きます。
「うれしいな。はやく かみさまのおはなしを
ききたいね。」
「さあ、いそいで いこうよ。」

まちでは みんな
ごちそうの したくに おおいそがし。
ペトロさんも じっとして いられません。
「わたしは さかなを とって こよう。」
ペトロさんは はりきって
みずうみへ でかけて いきます。

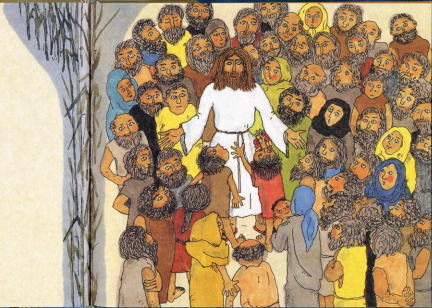




ところが どうした ことでしょう。
いくら あみを おろしても
さかなは いっぴきも かかりません。
「おかしいなあ。いつもは たくさん とれるのに。」

ペトロさんは あちら こちらと ふねを うごかして、
あみを あげたり おろしたり。
それでも やっぱり とれません。
とうとう あさに なって しまいました。

ペトロさんが がっかりして
きしに もどって くと、
もう そこは ひとで いっぱい。
イエスさまが おいでに ったのです。
おとなも こどもも よろこんで、
イエスさまを おわかえして います。





イエスさまは ペトロさんの ふねに のって、
かみさまのおはなしを してくださいました。
「かみさまは やさしい おかた。
いつも あなたがたと いっしょに いて くださいます。
かみさまに できない ことは ありません。」

でも ペトロさんは しょんぼり。
さかなの ことが きに なって、げんきが ありません。

